

STOP 拷問！キャンペーン 続報 クラウディア・メディナさん、起訴取り下げに！



凶悪な犯罪組織の一員だという疑いで拘束され、起訴されていたメキシコのクラウディア・メディナさんですが、武器保持に関わる起訴内容が2月初旬に取り下げられました。昨年10月には、控訴裁判所で犯罪組織に関わったとする起訴が取り下げられており、これですべての容疑がなくなりました。メディナさんの弁護士はすべての判決についてその明確な根拠を求めていく姿勢を崩していません。そのため、まだ法廷論争は続くのですが、これがメディナさんの起訴取り下げに影響することはありません。これでメディナさんはやっと、普通の生活にもどれるようになれました。

しかしメディナさんの闘いは終わったわけではありません。拘束中にメディナさんが受けた数々の拷問に対する補償と拷問に関わった関係者を処罰する必要があります。これらの正義を勝ち取るために引き続き活動をしていきます。

その一環として、ストップ拷問！キャンペーンチームは、メキシコの拷問に関する新しいアクションをスタートさせます。これにはメキシコの検察局長をターゲットとしたアクションです。検察局は、拷問の申し立てについて、直ちに徹底的な調査を行うべきです。その要求をしながら、同時に拷問被害の状況を共有していきます。引き続きメディナさんのケースに注目してください！

ジェリメ・コーレさんから感謝のメッセージ

フィリピンのジェリメ・コーレさんは、やってもいない強盗と殺人の容疑で2015年1月に逮捕され、拷問で強要された自白と警察がでっち上げた証拠を根拠に、麻薬密売の罪で起訴されました。ジェリメさんの申し立てによりフィリピン人権委員会が調査を開始し、医学検査で拷問の事実が確認されました。しかし、ジェリメさんはいまだ勾留されたままであり、警官は2人のみしか起訴されていません。

アムネスティのフィリピン支部は2月16日、ジェリメさんの妻とともにご本人に面会し、ライティング・マラソンで世界中の支援者から預かった手紙を手渡しました。ジェリメさんは「私の手元にもたくさんの手紙が直接届いています」と言い、刑務所長も、「世界中から手紙が届くジェリメさんはちょっとした有名人だ」と語っていたそうです。

ジェリメさんと妻は、寄せられる大きな支援が信じられない様子でしたが、それが彼らに希望と勇気を与えていることは間違いありません。「感謝してもしきれません。妻も私も、多くの手紙に力づけられています。私たちだけで闘っているのではなく、たくさんの人たちが私たちとともに正義を求めてくれている」と、2人は感謝していました。国際的な関心の高まりで、事件に対する当局の対応が慎重になっていると、ジェリメさんは見ているということでした。

ジェリメさんの妻は、最後に次のように話していました。「以前はとても恐怖を感じていました。夫に会いに行くことさえ、今度は自分が巻き込まれないかと怖れていました。その気持ちをこれらの手紙が変えてくれました。今、私たちは孤独ではないと思っています。前進する活力をもらいました。正義を得るまで闘い続けます」

現在アムネスティは、ライティング・マラソンがジェリメさんの状況に及ぼした影響を評価しているところで、いずれ報告としてまとめて公表する予定です。ひとまず参加していただいた皆さんの協力に深く感謝いたします！

グッドニュース！

〔ブラジル〕 住民を脅迫した牧場主が立退きに！

ブラジルの警察は、ブラジル東部のマラニョン州にあるコミュニティの住民を監視していた武装男5人を拘束しました。

男たちは、サンジョエ・デ・ブルノ地区近くで牧場を営む男に雇われていたのです。牧場主は2014年7月、同地区に侵入し、一部の森林を伐採し、フェンスで囲い込みました。そのため、コミュニティの住民は作物を育てることができなくなり、牧場主はそこで家畜を放牧しました。住民はこの不法行為に対し何度も抗議したため、牧場主は武装した男を配置して住民が近づかないよう監視し始めたのです。住民を言葉でも脅迫し、「土地をすべて奪ってやる」とか「殺してやる」と罵ったといいます。さらに、牧場主はコミュニティの住民を追い出そうとして男5人を雇い、約20世帯が脅迫と嫌がらせを受けていました。

2014年12月19日、ようやく警察が出動し5人を拘束しました。5人のうち1人が起訴されました。数日後、全員が保釈金を払って釈放されましたが、全員が脅迫容疑で起訴されることになるでしょう。さらにその後、地方労働組合の提訴を受けて、裁判所は国がコミュニティを不法侵入から守ることを求める裁定を下しました。これによりコミュニティの土地を奪い取ろうとした地元の牧場主は完全に撤退を余儀なくされました。

住民からは、武装男がいなくなり牧場主が去ったためやっと地域に平穏がもどってきたという、安堵の声が聞かれました。UAネットワークからのさらなる行動要請はありません。アピール文を送っていただいたすべての方々にお礼申し上げます。

〔サウジアラビア〕 サウダ・アル=シャマリさん釈放！

起訴されないまま3カ月間拘禁されていた女性権利擁護活動家サウダ・アル=シャマリさんが1月29日、釈放されました。釈放の条件と現在の法的身分は明らかではありません。その日、国王が恩赦を出していましたが、その恩赦で釈放されたのかどうかも不明です。

娘さんの話によると、シャマリさんは活動をやめるといふ旨の誓約文に署名を強要されたとのことでした。当局に尋問を受けた昨年10月28日以来、さらに取り調べが必要だとして拘禁が継続されてきましたが起訴はされませんでした。

シャマリさんは女性の権利擁護活動家として有名で、国が定める後見人制度にも反対しています。この制度は男性後見人の支配権に女性の自主性が従属させられるものです。また、女性の車両運転禁止の撤廃を要求するキャンペーンにも参加してきました。サウジアラビア自由ネットワークの代表も務めています。これは社会と政治の平和的改革を求める活動家たちのネットワークです。このネットワークの設立メンバーの1人はオンライン上の活動に対して実刑10年、むち打ち1000回の判決を受け、現在同ネットワークは活動休止を強いられています。

本件に関するアクションはこれで終わります。アピール文を送っていただいたすべての方々にお礼申し上げます。

〔エジプト〕 カレド・アル=カザーズさんが釈放！

カザーズさんは2013年7月3日、失脚した元モルシ大統領を支持したために大統領府の元職員とともに逮捕されました。それ以降、この1月まで起訴されることなく秘密裏に拘禁されていましたが、2015年1月11日に釈放されました。大半の期間は秘密拘禁でした。

検察長官は2014年12月29日にカザーズさんの釈放命令を出しました。しかし、2週間以上後に釈放されるまで、監視付きで病院に留められたままでした。カザーズさんに関するアクションはこれで終わります。アピール文を送っていただいたすべての方々にお礼申し上げます。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F

TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円

郵便振替 00120-9-133251

加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本